

3学期が始まりました。

文責 学校長



～受験生のために感染防止に協力を～

1 いよいよ3学期。3年生は受験シーズンへ突入。

令和3年度の締めくくりである3学期が始まりました。コロナの感染拡大状況も気になるころですが、3年生の「大学入学共通テスト」も今週末に迫っています。努力あるのみです。1・2年生も次のステージは始まっています。自分の目標に向かって具体的に走り始めましょう。

2 干支(えと)について・・・十干十二支とは？

前号で触れた干支について紹介します。「十干」はもともと、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸と、日を順に10日のまとまりで数えるための呼び名でした。10日ごとに、「一旬(いちじゅん)」と呼び、3つの旬(上旬、中旬、下旬)で1ヶ月になるため、広く使われていました。古代中国では、万物はすべて「陰」と「陽」の2つの要素に分けられるとする「陰陽説」と、すべて「木」、「火」、「土」、「金」、「水」(き・ひ・つ・か・みの順番で覚えよう)の5つの要素からなるとする「五行説」という思想がありました。これらを組み合わせて「陰陽五行説」といい、やがて陰陽五行説を「十干」に当てはめるようになりました。また、日本では、この「陰」と「陽」を「兄(え)」と「弟(と)」に見立て、「兄弟(えと)」と呼ぶようになりました。一方、「十二支」は、もともと12ヶ月の順を表わす呼び名でしたが、やがてこれらに12種の動物(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)を当てはめるようになったものです。その組み合わせは2つずれになるので、奇数と奇数、偶数と偶数の組み合わせしか存在しないため120通りではなく、「甲子(きのえね)」で始まり、「癸亥(みづのとい)」まで60通りになります。60歳を還暦と呼ぶのは生まれた干支に還ることになるからです。(参考：国立国会図書館「日本の暦」より)



五行	陽(兄)(え)	陰(弟)(と)
木(き)	甲(きのえ)	乙(きのと)
火(ひ)	丙(ひのえ)	丁(ひのと)
土(つち)	戊(つちのえ)	己(つちのと)
金(かね)	庚(かのえ)	辛(かのと)
水(みず)	壬(みずのえ)	癸(みずのと)

3 今週の名言・・・アメリカの実業家・イーロン・マスクの言葉です。

たぶん失敗するだろうと思ったけど、重要な事だからやることにした。根拠のない恐怖は無視すべきです。しかし、その恐怖が合理的であり、冷静に考えて失敗する可能性が高い場合でも、それが挑戦に値することであれば、その恐怖をやり過ごして前に進むべきです。たとえ失敗したとしても、挑戦する価値はあります。目標を立てたら、それに到達するためのあらゆる問題解決法を考え取り組みます。リーダーや経営者にとって必要なものとは何でしょうか。私は、明るい未来を信じられる仕事を創ることだと思います。

【解説】アメリカの実業家・イーロン・マスクの言葉です。スペースエックスやテスラモーターズなど、テクノロジーを駆使した次世代企業を創業し、映画「アイアンマン」のモデルにもなりました。ツイッターでの発言も社会問題となるなど、現代で最も影響力があり言動が注目される実業家のひとりです。

【イーロン・マスクについて】南アフリカ共和国・プレトリア出身のアメリカの実業家、エンジニア、投資家である。宇宙開発企業スペースXの創設者およびCEO、電気自動車企業テスラの共同創設者、CEOおよびテクノキング、テスラの子会社であるソーラーシティの会長等を務める。2021年10月31日、推定保有資産は3020億ドル(約34兆4106億円)。16年12月、フォーブスの世界で最も影響力のある人物ランキング21位に選出された。19年にフォーブスが発表した「アメリカで最も革新的なリーダー」ランキングでアマゾン CEO のジェフ・ベゾスと並び第1位の評価を受けた。PayPal社の前身であるX.com社を1999年に設立した人物でもある。(参考：「Wikipedia」より)

4 今週の話成語・・・「巧言令色、鮮し仁」【問題】英語で表現すると？

言葉巧みで、人から好かれようと愛想を振りまく者には、誠実な人間が少なく、人として最も大事な徳である仁の心が欠けているものだということ。



【由来】「巧言」とは、口先巧みに言葉をあやつること。「令色」とは、人にへつらうような愛想のよい顔つきのこと。「鮮し」は「少し」と同意だが、原典に沿えば「鮮し」と書く。「仁」とは、他人を思いやる心を元にして自己を完成させる、最高の徳のこと。弁舌巧みな人の言論に簡単に取り込まれないように気をつけよう。(出典『論語』より)

5 入試によく出る漢字(その14)・・・センターテスト(2005年度)の漢字に挑戦！

【問題】傍線部と同じ漢字を含むものを選びなさい。

- 忘我的なトウスイはかき消え、・・・〔①飛行機のトウジョウ券。 ②議論がフットウする。 ③トウベンを求められる。 ④亡き人をアイトウする。 ⑤恩師からクントウを受ける。〕
- 映画のありよう、そのボウギャグぶりがより鮮明になる。・・・〔①株価がボウラクする。 ②ムボウな登山を試みる。 ③安眠をボウガイされる。 ④ボウセンに努める。 ⑤酸素がケツボウする。〕
- スピードに魅せられ、ゲンワクされた二十世紀・・・〔①ゴミのゲンリョウに努める。 ②ジョウゲンの月を眺める。 ③ヘンゲン自在に出没する。 ④能のユウゲンな世界に接する。 ⑤ゲンセイに処分する。〕
- われわれの眼をアザムくまやかしてしかなかった。・・・〔①キョギの申告を罰する。 ②ギタイ語を多用する。 ③ギシン暗記の念。 ④悪質なサギ行為。 ⑤ギフンに駆られる。〕
- 観客に映像を「見せる」ことにフシンする。・・・〔①フオンな空気が漂う。 ②新たなフニン地に慣れる。 ③家族をフヨウする。 ④組織のフハイが進む。 ⑤キュウフ金が増額される。〕

6 今週の一冊・・・ディーリア・オーエンズの『ザリガニの鳴くところ』(早川書房)です。

ノース・カロライナ州の湿地で男の死体が発見された。人々は「湿地の少女」に疑いの目を向ける。6歳で家族に見捨てられたときから、カイヤは湿地の小屋でたったひとり生きなければならなかった。読み書きを教えてくれた少年テイトに恋心を抱くが、彼は大学進学のため彼女のもとを去ってゆく。以来、村の人々に「湿地の少女」と呼ばれ蔑まれながらも、彼女は生き物が自然のままに生きる「ザリガニの鳴くところ」へと思いをはせて静かに暮らしていた。しかしあるとき、村の裕福な青年チェイスが彼女に近づく…みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。全米500万部突破、感動と驚愕のベストセラー。

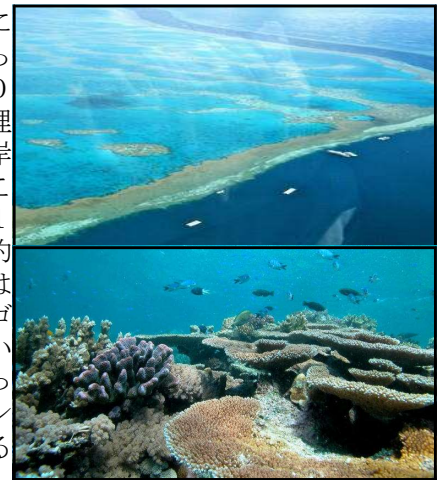
(参考:本書裏表紙説明より)

【解説】本屋大賞・翻訳小説部門第1位に輝いた作品です。図書館に入れてありましたので、早速読んでみました。505ページに及ぶ長編小説なので、読み応えがあります。久しぶりに翻訳小説を読むとその翻訳文体に多少戸惑うところはありますが、外国語独特の言い回しや情景描写の妙についつい引き込まれていきます。高校時代に読んだ翻訳小説と言えば、『車輪の下』・『老人と海』・『罪と罰』・『変身』・『若きウェルテルの悩み』・『ああ無常(レ・ミゼラブル)』・『武器よさらば』・『誰がために鐘は鳴る』などを思い出します。最近ではカズオ・イシグロの『わたしを離さないで』がありますが、日本語の語順とは異なる外国語、特に英語独特の文体や表現、描写に慣れておくと、英文和訳(長文読解)にも役立つのではないかと思います。本作品についての説明はネタバレになりそうなので控えますが、きっといつまでも心に残る作品になると思いますので、是非翻訳小説にもチャレンジしてみてください。

【作者・ディーリア・オーエンズについて】ジョージア州出身の動物学者、小説家。ジョージア大学で動物学の学士号を、カリフォルニア大学デイヴィス校で動物行動学の博士号を取得。ボツワナのカラハリ砂漠でフィールドワークを行ない、その経験を記したノンフィクション『カラハリ——アフリカ最後の野生に暮らす』(マーク・オーエンズとの共著、1984年)(邦訳は1988年、早川書房刊)が世界的ベストセラーとなる。同書は優れたネイチャーライティングに贈られるジョン・バロウズ賞を受賞している。他にも、動物にまつわるノンフィクションであるThe Eye of the Elephant、Secrets of the Savanna(ともに共著)を発表。また、研究論文は《ネイチャー》誌など多くの学術雑誌に掲載されている。現在はアイダホ州に住み、グリズリーやオオカミ、湿地の保全活動を行っている。69歳で執筆した本作が初めての小説である。(参考:本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第39回はグレート・バリア・リーフ(オーストラリア)(登録:1981年)

【解説】グレート・バリア・リーフ(英: Great Barrier Reef)は、オーストラリア北東岸に広がる世界最大のサンゴ礁地帯。漢字表記は大堡礁(だいほしょう)。南緯10度から24度にかけて広がり、2600km(1,600マイル)を超える長さ、2,900以上の暗礁群と約900の島を持ち、総面積は344,400km²以上となる。地理的な位置は、クイーンズランド州沿岸の珊瑚海に存在する。オーストラリアの東海岸を北から南に飛行機で下ると、約3時間もの間、眼下に切れ間ないサンゴ礁を見ることができます。これはオーストラリア大陸の縦幅の2/3あると言われています。1981年、サンゴ礁としては世界で初めて世界自然遺産に登録されました。面積は約35万km²あり、これは日本列島の面積とほぼ同じで非常に大規模なものです。誕生は約1800万年前にさかのぼり、約200万年前から石灰岩が堆積、その上にサンゴが生息し始めました。サンゴが生育するには、18~30℃の水温で、光が届く浅い場所であることが必要ですが、この場所は年間を通じて水温が高く、遠浅の海であったことで、このような大サンゴ礁の形成が可能でした。というのも、サンゴはプランクトンを食べ、共生している褐虫藻が光合成を行いその養分をサンゴへ提供しているため、光が必要なのです。(参考:『世界遺産人気ランキング』より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第39回は佐賀市の「鶴乃堂本舗」の肉まんじゅうです。

寒さが強くなるセンター試験(現・大学入学共通テスト)の時期になると「鶴乃堂本舗の肉まんじゅう」が無性に食べたくなります。コロナ前の試験会場の佐賀大学の食堂では、引率・激励の先生方でいっぱいとなり、あちらこちらで差し入れの肉まんの匂いで充満していました。中でも好評を博するのがこの「鶴乃堂」の肉まんです。佐嘉神社の入り口参道付近にある店で、佐嘉神社や徴古館にいくと時々行列が出来ているのを見かけることがありますが、その行列の原因となっているのがこのお店です。昭和40年代を思わせるレトロな雰囲気の中に建つ「鶴乃堂本舗」。佐嘉神社西側の商店街一帯はかなりカオスな状況になっているので、昭和レトロ哀愁系の景観が好きな人にはぜひおススメです。実際に食べてみると、玉ねぎの甘みが強い素朴な味で、コンビニ肉まん特有の冷凍食品臭(人工調味料の味)がないので、新鮮で「ああ昔の肉まん本来の味はこういう味なんだろうな」と懐かしい気がします。

(佐賀市松原2丁目6-15 営業時間 9:30~19:00 定休日 第1・3月曜日)



9 保護者の皆様へ・・・コロナ感染第6波に備えて防止策の徹底をお願いします。

【英語】(from the Analects of Confucius) those who resort to blandishments and fawning smiles are apt to lack compassion

【正解】(1)陶醉〔搭乗・沸騰・答弁・哀悼・薰陶〕(2)暴虐〔暴落・無謀・妨害・防戦・欠乏〕

(3)幻惑〔減量・上弦・変幻・幽玄・嚴正〕(4)欺〔虚偽・擬態・疑心・詐欺・義憤〕

(5)腐心〔不穩・赴任・扶養・腐敗・給付〕